

浜松市教育委員会会議次第

令和4年12月21日(水)

14時00分

教育委員会室

1 開 会

2 前回会議録の報告及び承認

3 会議録署名人の決定(安田委員、神谷委員)

4 会期の決定

5 議 事

(1) 報 告

ア 令和4年度浜松市優秀教職員表彰について

(教職員課)

イ 博物館資料紛失再調査委員報告書について

(文化財課)

ウ 博物館の事業について

(文化財課)

6 閉 会

令和4年度浜松市優秀教職員表彰について

教職員課

1 幼稚園 3人

番号	園名	職種	氏名	性別	分野					
1	初生	教諭	三宅 奈美	女	ア			オ		
2	光明	教諭	伊藤 江里	女					ク	ケ
3	上阿多古	教諭	屋舗 千安紀	女	ア					ケ

(分野)

- ア 保育・学習指導
- イ 生徒指導・進路指導
- ウ 体育・保健・給食
- エ 特別活動・部活動
- オ 発達支援教育
- カ 地域連携
- キ 国際交流
- ク 学校事務・学校運営・組織
- ケ その他

2 小学校 29人

番号	校名	職種	氏名	性別	分野					
1	相生	教諭	鈴木 由香	女	ア	イ			カ	ケ
2	曳馬	教諭	大庭 聡文	男	ア	イ				
3	富塚	養護教諭	秋定 宏子	女			ウ			
4	白脇	教諭	野口 万希子	女	ア	イ	エ			
5	蒲	教諭	金子 よしみ	女	ア			オ		
6	上島	教諭	中安 大	男	ア			オ		ケ
7	新津	教諭	山口 泰子	女				オ		ケ
8	船越	教諭	長尾 美和	女	ア			オ		ケ
9	和田	養護教諭	安藤 清子	女	ア		ウ			ケ
10	与進	教諭	外山 恵子	女	ア			オ		ケ
11	豊西	教諭	新村 純代	女		イ		オ		ケ
12	三方原	事務職員	坂田 祐子	女	ア					ク
13	豊岡	栄養教諭	平賀 晶子	女	ア		ウ			ケ
14	積志	教諭	坪井 玲子	女	ア			オ		
15	和地	教諭	池谷 麻利子	女	ア			オ		
16	村櫛	教諭	村松 道子	女	ア	イ	ウ			
17	泉	教諭	内山 智子	女	ア	イ				ケ
18	中郡	教諭	河村 誠	男	ア					ケ
19	有玉	教諭	名倉 香居	女	ア	イ				
20	可美	教諭	片岡 京子	女	ア			オ		ケ
21	大平台	教諭	新村 朋子	女					カ	ケ
22	浜名	教諭	木下 利恵	女	ア			オ		ケ
23	中瀬	養護教諭	原田 英見	女	ア		ウ			ケ
24	内野	教諭	梅田 礼子	女		イ				
25	北浜南	教諭	白鳥 直樹	男	ア	イ			カ	
26	下阿多古	教諭	本間 敬英	男	ア					ケ
27	犬居	教諭	岡田 久世	女	ア	イ		オ		ケ
28	気田	教諭	山下 里美	女	ア	イ		オ		ケ
29	中部	教諭	大川 和歌子	女	ア		エ	オ		

3 中学校 14人

番号	校名	職種	氏名	性別	分野
1	東部	養護教諭	大藺 文香	女	イ ウ
2	新津	教諭	倉知 恵理	女	ア
3	天竜	事務職員	伊與田 和子	女	ク
4	与進	教諭	水谷 剛章	男	ア ウ エ
5	都田	教諭	鈴木 貞良	男	ア イ
6	入野	主幹教諭	大庭 孝仁	男	ア イ エ
7	湖東	事務職員	清水 義則	男	ク ケ
8	高台	教諭	松島 一晃	男	ア イ
9	江南	教諭	小野 美穂	女	ク
10	開成	教諭	足立 祐行	男	ア イ
11	東陽	養護教諭	飛田 奈美子	女	ウ オ
12	麓玉	教諭	水谷 裕士	男	イ エ
13	引佐南部	教諭	十河 直美	女	ア イ ク
14	三ヶ日	教諭	岡田 充弘	男	ア キ

(分野)

- ア 保育・学習指導
- イ 生徒指導・進路指導
- ウ 体育・保健・給食
- エ 特別活動・部活動
- オ 発達支援教育
- カ 地域連携
- キ 国際交流
- ク 学校事務・学校運営・組織
- ケ その他

4 高等学校 1人

番号	校名	職種	氏名	性別	分野
1	市立	教諭	羽切 初枝	女	ケ

【校種・男女別人数】

校種	男女	計	小計	前年度比
幼稚園	男	0	3	0
	女	3		
小学校	男	5	29	0
	女	24		
中学校	男	8	14	△5
	女	6		
高校	男	0	1	0
	女	1		
男女比	男計	13	34	△7
	女計	34		2
合計			47	△5

【職種別人数】

職種	小計	前年度比
主幹教諭	1	0
教諭	37	△4
養護教諭	5	1
栄養教諭	1	0
事務職員	3	△2
合計	47	△5

※ 表彰式

(日時)

令和4年12月12日(月)午後3時～

(会場)

教育センター

博物館資料紛失再調査委員報告書について

文化財課

1 再調査（検証）の概要

（1）目的

- ・博物館資料の紛失から 2022 年 3 月 25 日の公表までの経緯に係る検証
- ・再発防止に向けた提言

（2）期間

2022 年 6 月 7 日から 2022 年 11 月 4 日まで ※別表参照

（3）内容

- ・浜松市調査に際して作成された関係資料の閲覧、調査に関わった職員からの聞き取り、収蔵庫の視察などに基づき検証
- ・当時の浜松市博物館における博物館資料の管理の実態検証のため、過去に文化財課（博物館を含む。）に在籍していた職員に対する追加ヒアリングを実施

2 浜松市調査の検証

（1）検証の視点

- ・調査は適切かつ十分に実施されていたか

（2）検証結果

【総論】

- ・調査実施体制や聞き取り調査の方法などに一部配慮に欠ける点が見られるが、総じて適切かつ十分であった。

【指摘事項】

- ・「資料紛失」や「長期にわたる虚偽報告」が発生した背景の検証は、十分ではなかった。
→再調査委員による追加調査を実施
- ・2022 年 3 月までに十分に探索したと説明がなされていた紛失資料の一部が、収蔵庫で発見されたことは驚きであり、収蔵庫全てを何回も探索したが発見に至らなかったことは大変遺憾である。
- ・探索を丁寧に行っていれば、ここまで大きな問題とはならなかった。整理整頓の不徹底や管理のずさんさがクローズアップされる。紛失を認識したときの対応が適切であったとはいえ、もっと早い段階で第三者の視点を入れた調査などが必要であった。

3 再調査委員による検証結果

（1）本件について

- ・再調査委員が実施したヒアリングにおいて、博物館資料が所在不明になっていることを複数人が完全に認識しながら、長年に渡って不適切な対応を続けてきたことが顕在化した。
- ・2011 年度に「浜松城二の丸絵図」が所在不明であると歴史担当の学芸員が認識したが、備品調査報告書は 2020 年度まで「ある」ものとして記載されており、所在不明及び探索については触れられていない。事実を正直に報告せず、虚偽の報告を行ったことについて、責任者である博物館長の責任は大きい。

(2) 本件が起こった要因

- ア 非常にずさんな収蔵状況
 - ・資料が年々増加し、膨大であるにも関わらず、台帳に不備があり、整理ができていない。
- イ 初動時の対応、管理能力・危機意識の欠如
 - ・「どこかにあるからそのうち出てくるだろう」と楽観的な考えが、結果的に「隠ぺい」と言われるような事態になってしまったことは非常に遺憾である。
 - ・重要な博物館資料が所在不明と判明した時点で、問題化して探索すべきであった。
- ウ 縦割りの組織体制
 - ・博物館内で学芸部門と事務部門の間には高い壁があり、また、学芸部門の間でも、専門分野ごとに縦割りになっており、他者の業務に自由に口出しできない風土がある。
- エ 調達課の統制機能の不備
 - ・毎年度実施している備品調査報告では、誰が棚卸をしたのかが分からない。
 - ・調達課の物品検査は事後検査であるため十分な牽制は働かない。
- オ 組織改編、行政改革の影響
 - ・博物館長は、専門性と管理運営能力の両方がなければならない。ただし、一人でもちらもできるという人はなかなかいない。組織改編で、館長補佐がいなくなったことにより管理運営面がおろそかになってきていたのではないか。

4 再発防止策の提言

(1) 博物館の運営体制について

- ・博物館資料について、資料のトリアージを実施し、重要度に応じた効率的な保管方法を構築すべきである。
- ・学芸員にしか当該博物館資料が分からないような体制ではなく、誰が見ても当該博物館資料がどのようなものかが分かるような台帳整備（電子化）が必要である。

(2) 博物館資料の意義、特色について

- ・博物館資料は、一般の管理物品とは異なり、経済的価値で評価しにくい上、一点一点が個性的である。このような特色も考慮して、再発防止策を検討しなければならない。

(3) 浜松市の物品管理体制について

- ・各部局における備品調査は、誰が確認したか明確にすることが重要である。そうすることで責任を持って担当者が「棚卸」を実施することが可能となる。

(4) 職員倫理、人事・組織の在り方について

- ・博物館の運営には、専門分野の能力と組織運営のマネジメント能力の両方が必要である。
- ・OJTにより、個々の職員の能力向上のみならず、職場に連帯感をもたせ、組織能力の継続的レベルアップに努めていかなければならない。

1 委員名簿

	分野	氏名	役職
(1)	博物館の管理及び運営に関する学識経験を有する者	笹原 恵	静岡大学情報学部長
		富田 和俊	博物館アドバイザー
(2)	法律に関する学識経験を有する者	鈴木 孝裕	弁護士
(3)	公共団体における財産管理に関する学識経験を有する者	山田 夏子	公認会計士
(4)	警察業務に関する学識経験を有する者	山本 能正	元警察官

2 意見聴取会スケジュール

開催日		議題
第1回	6月7日(火)	・委員委嘱 ・事案の概要説明 ・収蔵庫現地確認
第2回	6月24日(金)	・再調査の論点整理 ・文化財課による調査報告
第3回	7月12日(火)	・調達課による調査(物品検査等)説明・報告
第4回	8月3日(水)	・総務部による調査報告
第5回	8月18日(木)	・今後の方向性について
第6回	9月2日(金)	・関係者ヒアリング
第7回	10月11日(火)	・関係者ヒアリング
第8回	10月24日(月)	・報告書のとりまとめ
第9回	11月4日(金)	・報告書のとりまとめ

博物館の事業について

文化財課

1 テーマ展「家康伝承と浜松」の開催について

(1) 会期及び開館時間

令和4年12月24日（土）～令和5年9月24日（日） 午前9時～午後5時

(2) 概要

- ・浜松には、徳川家康と武田信玄が戦った「三方ヶ原の戦い」を中心に、徳川家康にまつわる伝承が多く残っている。
- ・本展では、特別展「三方ヶ原の戦いと家康伝承」で展示した館蔵資料を中心に、三方ヶ原の戦いの布陣図、後世における徳川家康の由緒や伝承を記した古文書や書籍等により、浜松の歴史において徳川家康がどのような存在であったかを考える。
- ・家康にまつわる「家康伝承」を市民協働で調査した「家康伝承調査事業」の成果も紹介しながら、後世の人々にとっての徳川家康のイメージについても展示する。

家康伝承と浜松

浜松市博物館テーマ展

令和4年

12月24日~

令和5年

9月24日

休館日

月曜（祝日にあたる場合は開館）と祝日の翌日 年末年始（12月29日~1月3日）

※令和4年度中の臨時開館日

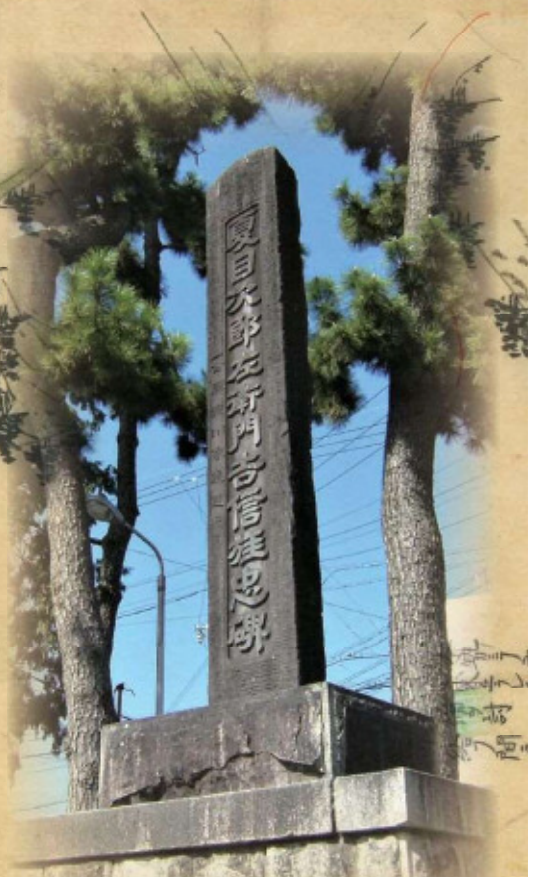
12月26日・2月12日・3月27日

開館時間

午前9時~午後5時

観覧料

大人310円、高校生150円、中学生以下・70歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方と介添えの方1名までは無料



夏目次郎左衛門吉信旌忠碑



徳川十六将図

浜松市博物館

遠州味方力原御合戦之図

浜松市博物館テーマ展

家康伝承と浜松

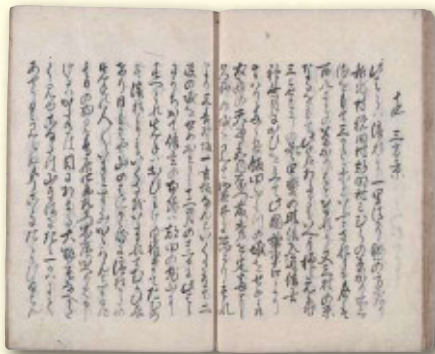
浜松には、徳川家康と武田信玄が戦った元龜三年（一五七二）の「三方ヶ原の戦い」を中心に、徳川家康にまつわる伝承が多く残っています。

徳川家康や三方ヶ原の戦いについては、様々な伝承やイメージが形成され、後世にも影響を与えてきました。これらについて取り上げ、浜松の歴史において徳川家康がどのような存在であったのかを考えます。

また、家康に関わる伝承については、博物館と市民との協働により地域に残る家康の伝承を広く調査する家康伝承調査事業を行っており、これらの成果も紹介します。



忍冬酒の容器



曳駒拾遺



酒井忠次時鼓打之図



光明勝栗

講座

「家康伝承と浜松」（細江図書館との協力事業）

日時：令和5年2月4日（土）（午後1時30分から3時）
講師：橋本充悠（当館学芸員）
会場：細江図書館
定員：30名（先着順）
参加費：無料
申込・問合せ：1月9日（月）午前10時より細江図書館へ
電話（527-0185）または受付カウンターまで

ギャラリートーク

日時：令和5年1月21日（土）・3月1日（水）、4月15日（土）、5月17日（水）、それ以降はHPを確認ください。
いずれも午前10時から30分程度
内容：担当学芸員が会場にて展示解説を行います。

浜松市博物館・分館連携展示「家康ゆかりの地パネル展」

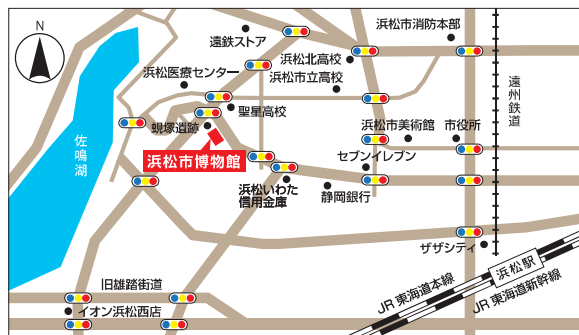
館名	紹介する地域	期間
浜松市博物館	中区	2022年12月24日～2024年1月8日
市民ミュージアム浜北 浜北区貴布祢291-1 TEL:053-586-7310	東区・浜北区	2022年12月24日～2024年1月8日
舞阪郷土資料館 西区舞阪町舞阪2668-56 TEL:053-592-7000	南区・西区	2022年12月24日～2023年2月26日 2023年6月3日～2024年1月8日
姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館 北区細江町気賀1015-1 TEL:053-523-1456	北区	2022年12月24日～2024年1月8日
春野歴史民俗資料館 天竜区春野町宮川1327-1 TEL:053-989-1119	天竜区	2023年2月11日～2024年1月8日

※博物館や各分館の周辺に残されている徳川家康ゆかりの地を、写真と解説で紹介いたします。

見学会

「めぐってみよう！家康の伝承地」

日時：令和5年3月19日（日）（午後1時30分から2時間程度）
内容：浜松城から家康ゆかりの伝承地を歩いてめぐると見学会
案内人：博物館職員・家康伝承調査事業参加者
定員：15名（申込期間：2/7～3/2必着 申込多数の場合抽選）
参加費：無料
申込：当館HP申込フォームまたは往復はがき（イベント名・氏名（ふりがな）・電話番号を記載）を浜松市博物館へお送りください。
※1枚のはがきで2名まで申込可能



■バス/JR浜松駅北口バスターミナル②番のりば遠鉄バス「蛸塚・佐鳴台」行→「博物館」下車
■乗用車/東名浜松IC・浜松西ICから約30分（無料駐車場45台）

浜松市博物館
Hamamatsu City History Museum



〒432-8018
静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22-1
TEL: 053-456-2208

浜松市博物館HP



Yes!
家康プロジェクト浜松